

「ミナクルストロー シッパー」(2008.12.29)

一見、ぶっついストローですが、中にそれぞれチョコレート、イチゴ、キャラメルが仕込んであるストローです。つまり、牛乳をそれぞれのストローで飲むと、チョコレート味牛乳、イチゴ味牛乳、キャラメル味牛乳になる訳です。

素晴らしい！



「金しゃちシリーズ 岡崎八丁味噌ラガー」(2008.12.14)

地方には地方ならではの地ビールがありますが、このページでも、名古屋金しゃち「赤味噌ラガー」「抹茶ドラフト」は紹介済みです。さて、同じ、金しゃちシリーズで、「赤味噌ラガー」と姉妹品であります、「八丁味噌ラガー」はまだご紹介しておりませんでしたので、改めてご紹介します。

のど越しは、もろ「味噌？」っす。



「アントニオ猪木特製カレー 闘魂注入」(2008.12.6)

え～、みなさん！元気ですかあ！

このカレーを食べば どうなるものか 危ぶむなカレー 危ぶめば幸はなし
食べ出せば その一口が癖になり その一口が福となる
迷わず食べよ 食べれば分かるさ イチ・ニ・サン・ダー！



有りがたい、アントニオ猪木ブロマイドと闘魂注入のお言葉付き。カレーは・・・辛れ〜っ！



「金しゃちシリーズ 抹茶ドラフト」(2008.12.3)

地方には地方ならではの地ビールがありますが、このページでも、名古屋金しゃち「赤味噌ラガー」は紹介済みです。さて、同じ、金しゃちシリーズで、期間限定ということで、抹茶の産地・愛知県西尾市産の抹茶を一部原料に使った発泡酒、その名も「抹茶ドラフト」が販売中ですのでご紹介します。

マジで、のど越しは「抹茶」っす。



「災害非常用サクマのドロップス」(2008.11.29)

「サクマのドロップス」は皆さんよくご存知だと思います。ハイ！これが「サクマのドロップス」ですよ。



「サクマのドロップス」といえば、私は映画「火垂の墓」を連想します。缶カラに、節子の遺骨を入れるシーンはいたたまれないのですが、この「サクマのドロップス」、”災害非常用”なるものがあるのをご存じでしょうか。私も知らなかったです。その商品がこれです。



絵柄も、鮮やか緑地で「非常用」と……。で、どんなものなのか、興味津々で中を開けてみると……。なんてことない、通常バージョンと全く変わらない、ドロップスっす。味も？

「えくらちゃん シリーズ」(2008.11.27)

水温が高くなったのか、水質に何か原因があるのか、一時日本海沿岸に大量のエチゼンクラゲが発生してマスコミを賑わせました。これがエチゼンクラゲです。



漁師にとっては、網にわんさか入っちゃって漁にならないらしく、招かざる客らしいですが、食おうと思うなら人間、何でも食える！もったいない！ということで、このエチゼンクラゲを”モチーフ”にしている商品が出ています。

このページでも以前「エチゼンクラゲ・ポンチ」をご紹介しましたが、さて、今回は2つの新商品をご紹介します。まずは「えくらちゃん サクサククッキー」。当然エチゼンクラゲを使っていま～す。



ほんと、サクサクとした歯ごたえでおいしいですよ。そして、「えくらちゃん 潮羽二重餅」。もっちもっち、もっちもち～。おいちー。



ところで気になるキャラ「えくらちゃん」というネーミング。恐らく”エチゼンクラゲ”から来たものだと思います。ちなみに、プロフィールを見ると、「カラダは大きいけれど、ちょっぴり恥ずかしがりやで泣き虫なおんなのこ」とのこと。

「いかチョコ 塩キャラメル」(2008.11.23)

一部マニアには有名な、さきイカにチョコをコーティングしたお菓子の初代「いかチョコ」。その後、いろんなバリエーションでシリーズ化されています。

このシリーズについては、リリースのたびに随時このページでご紹介していましたが、さて、今回新顔がお目見えしましたので早速ご紹介します。

ハイ！これが「いかチョコ 塩キャラメル」です。正直言いまして、今シリーズの中では、一番イケテいます。



「徳川将軍珈琲」(2008.11.22)

NHK大河ドラマ「篤姫」。年末も差し迫り、丁度今、京都鳥羽伏見の戦いで徳川幕府軍は敗北、将軍慶喜は部下を置き去りにしたまま、江戸に逃げ帰る訳です。

その後、大政奉還やら何やらの激動を生き抜いて、慶喜公は明治に入ってからカメラなどの趣味の世界にのめりこんで平穏な日々を過ごして大往生するのは周知の通りです。

この慶喜公が珈琲を好んで飲んでいたそうですよ。そこで、徳川慶喜家直系4代目でカメラマン&食通の徳川慶朝さんが、当時の珈琲を再現して自ら焙煎した商品だそうです。



超ビターですが今、旬です。

「サナギーヌ」(2008.11.15)

「サナギーヌ」・・・フランス語なのかなんなの？銀座の高級洋菓子屋さんに並んでいそうなネーミングのお菓子ですが、ぶっちゃけ、カブトムシのさなぎの姿を、まんまお菓子にしたお菓子どえ〜す。



見た目に惑わされてはいけませんよ。いわゆるカルメ焼きのような感じのお菓子ですが、とてもおいしいお菓子です。

名古屋名物アイスシリーズ 其三「えびふりゃあアイス」ほか (2008.11.12)

尾張名古屋の名物アイスシリーズの第三弾っす。もうめんどっちいので、皆まで言いません、淡々にご紹介しましょう。



「えびふりゃアイス」



「名古屋コーチンアイス」



「きちめんアイス」



「手羽先アイス」



「親子丼アイス」



「みそカツアイス」

「かぶとむしチョコレートケーキ」(2008.11.9)



見た目そのまんま「かぶとむし」のチョコレートケーキです。本体はケーキやらグミみたいなもやらを駆使して形を作って、チョコレートでコーティングしています。

しかも、オールお菓子！丸い台座もクッキーで出来ているというこだわり。お見事！！

名古屋名物アイスシリーズ 其の二「味噌煮込みうどんアイス」(2008.11.1)

尾張名古屋の名物の一つ、味噌煮込みうどんを模したアイスクリームがコレです。名古屋名物アイスシリーズの第二弾っす。



肉、かまぼこ、えんどう、卵がトッピングしてあります。といっても、”かまぼこ”、”えんどう”、”卵”はあくまで「見立て」ですが、”肉”はちゃんと煮込んである本物の肉で、アイス自体はほんのり味噌風味。



しかも、アイスの中には、うどん麺がしっかり刻んで入っているというこだわり。

名古屋名物アイスシリーズ 其の一「ひつまぶし丼アイス」(2008.10.26)

尾張名古屋の名物の一つ、うなぎを使った郷土料理「ひつまぶし」。これを、何故かアイスクリームにした商品がコレです。



ちゃんとした陶器の器に入っていて、いかしてるう〜。ひつまぶしとは？＝うなぎですよ。でもアイスの場合、どうせ“うなぎもどき”だろう！と思っていたら、何をか言わんや、本物のうなぎ！



タレの部分も、チョコかなんかだろうと思っていたら、これも、何をか言わんや、本物。つまり、身も柔らかなご飯が欲しくなるうなぎの蒲焼と、甘くてこれもお飯が欲しくなる、独特のタレに、冷たいバニラアイスの食感が、ハーモニーとなって・・・・・・って、ん？

「0系バームクーヘン」(2008.10.8)

新幹線といえば、0系、いわゆる昭和39年新幹線開業時に登場したジャンボジェット機のようなずんぐり頭のデザインの車両を、私は思い浮かべるんですけど、悲しいかな、今年いっぱいの営業で幕を降ろす事になったそうです。

0系車両よ、44年間、ご苦労様でした。ということで、北九州の駅売店の限定販売で、コレを記念したバームクーヘンが発売されていますので、7本入手しました。

パッケージも0系車両のデザインになっていて、イカシています。かっちょイイ！！ちなみに、中身は？・・・・丸くて細長〜いバームクーヘンっす。



「たい焼きキャンディ あんこ入り」(2008.10.5)

日本オリジナルの伝統のお菓子、鯛焼き。あんこがめいっぱい入っているかどうか、会話を弾ませますが、さて、この日本人なら誰もが親しい、鯛焼きの形を模した、大きなキャンディがあります。これです。割ってみると・・・・・・ちゃんと・・・・申し訳なさそうに「あんこ」が入っています。



「どぜうもん 赤いラーメン しょうゆ味」「どぜうもん 緑のラーメン しょうゆではない味」(2008.8.30)

テレビのタイアップ作品というのは数数有りますので、ご紹介するほどのインパクトは薄いのですが、最近気になった某テレビ番組のタイアップ商品をご紹介します。

これが「どぜうもん 赤いラーメン しょうゆ味」。



こっちが「どぜうもん 緑のラーメン しょうゆではない味」。



しょうゆではない味とはいかに？それは、買ってのお楽しみ。

「独歩 うなぎに合うビール」(2008.8.10)

夏です。猛暑です。皆さん、ビールに御厄介になっていると思いますが、こんなビールはいかがでしょう。題して「うなぎに合うビール」。



うなぎの蒲焼”をつまみにするとその相性がバツグンなビールだそうです。と言っても、「うなぎ」をつまみにできる人って、無条件にブルジョアっすよねえ～（笑）。

私は無理・・・ってゆうか・・・不肖ヨシボー、お酒飲めない・・・のに、1ダースも買ってもうた！どうすっぺなあ！

「今日もキツイよ お父さんのカレー臭」(2008.7.27)

確かに、パッケージからも・・・カレ～～～臭、全開だぁ！！



「こども焼肉のたれ イチゴ」(2008.7.20)

おこちゃま仕様の歯磨き粉ってゆう商品があります。バナナ味だのチョコレート味だの要するには磨き粉に味が付いていて、歯磨きを嫌がらないようにする歯磨き粉ですが、思わず飲み込んでしまいそうです。

さて、おこちゃま仕様といえば、焼肉のタレにもおこちゃま仕様なるものがあるのをご存知でしょうか。ズバリその商品がコチラ。



タレがイチゴ味なんです。おこちゃまが喰いつくこと間違いなしです。3本も買っちゃっちゃいました。焼肉に「イチゴ風味」は合うのか？早速試しましたよ。

「明太子マヨネーズクッキー」「生ビールクッキー」「ラーメンクッキー」(2008.7.12)

ライトアダルトなクッキーのご紹介です。味に失敗の無い「マヨネーズ」そして同じく味に失敗の無い「明太子」。このマヨネーズ味と明太子味を贅沢にもコラボにしたクッキーが「明太子マヨネーズクッキー」。



味のハーモニーは？・・・食べてからのお楽しみです。そのほか、生ビールテイストのクッキーその名も「生ビールクッキー」、ラーメンテイストのクッキーその名も「ラーメンクッキー」、はい、こんな感じです。



「プリン・あっ、らーめん」(2008.6.1)



あ・らっ？ラーメン？と思いきや、否っ！プリンをメインにした、全とお菓子で出来たラーメンもどきアイスっす。どんぶりだけは本物の陶器のラーメンどんぶり、中身は全とお菓子ですよ。

写真では、スープ（ゼラチン）で覆われていて判りづらいですが、プリンが麺のようにデコレーションされています。

通常は箱に入っています。こんな感じっす。ただ、数秒も経たないうちに、ゲロ状になります。キモくなります。食欲・・・落ちます。



「プリンサイダ~~~~~！」(2008.5.27)

”プリンのサイダー”というのもあまり聞かないですけど、商品名を”ダ~~~~~！”と伸ばしていて、そして、瓶にプリントされているキャラのイラストがプロレスラー風になっているのを見ると、恐らく、たぶん、九分九厘、あのお方を意識しているんだと思います。



「ビールゼリー ビアー」(2008.5.23)

もう直ぐ夏本番、ビールが美味しい季節になります。で、私みたいにアルコールが苦手な方にお勧めの商品がこれ。といっても、ノンアルコールじゃないですよ。ちゃんとアルコール、入っています。いわゆる”ロウアルコール”。



テイストはちゃんと”ビール”です。ちなみに、つまみ用として乾き物もついているのが憎い演出です。



「男のミント 竹炭」(2008.5.14)



”男のミント”という意味もよく判りませんし、「竹炭」とのコラボというのもよくわかりません（笑）。どくろマークに「DANGER」もよく判りません（笑）。

竹炭ということだけあって、体には良さそう。タブレットは真黒玉。正露丸みたいっす。

「サッポロ生ビール黒ラベルキャラメル」(2008.4.29)

文字通りのキャラメルです。サッポロビール黒ラベルを閉じ込めたキャラメルです。いわゆる「一応甘いけど後味はもろビール」というキャラメルです。ぶっちゃけ、キャラメルとビールは合いまし〜えん。



「民間用 戦闘糧食」(2008.4.26)



自衛隊の戦闘時の戦闘食を、非常食として民生化したアイテムであります。「戦闘時非常食缶詰」という副題がついているであります。「エビピラフ」「チキンライス」「味付けマグロ」の3缶を買ってみたのであります。



お世辞にも「エビピラフ」「チキンライス」は美味しいとはいえませんが、非常食と思えば”贅沢”な味であります。

「味付けマグロ」は非常に美味しい！・・・ですが、冷静になって見れば、市販の、ただのマグロ缶と同じであります。

「KitKat しょうゆ風味」(2008.4.15)

『ハブア〜ブレイク！ハブア〜KitKat!』でおなじみの「KitKat」。東京限定で「しょうゆ風味」つーのが今春出ています。



ま、東京はさすが日本の首都。「何何限定！」と銘打っている地方限定バージョンのお菓子も、ちゃんと東京のお店の店頭に並んでいたりしますので、東京に住んでいると得な気持ちになります。

・・・んなことはどうでもよくて、さて、このキットカットは東京限定とのことですので、地方からこられた方、東京物見遊山のお土産にどうぞ。

「美ューティフル 竹炭ぷりん」(2008.4.5)

竹炭といえば、竹を炭にしたもので、よくご飯を炊くときに竹炭を入れて一緒に炊くと美味しいとか、水を入れたポットに竹炭を入れると、水が美味しくなるとか・etc.

いろんなメディアで紹介されていますが、じゃ、竹炭をプリンにしちゃえ！と考案された商品がこれです。瓶にしっかりと「竹炭ラベル」が貼られていますよ。イカシていますね。



原料がゆうても竹炭なので、あの独特の、どう表現してよいか難しいですが、黒光りした色がバーンと網膜に写ると・・・食欲が萎えてしまいまう～（笑）。

「いもむしゴロゴロ」「かぶと虫の幼虫チョコレート」「ようちゅう・ベジ・パッケン」(2008.3.29)

秋田にあります、創作和菓子・洋菓子の店「小松屋本店」さんで売っています、創作菓子です。とにもかくにも淡々とご紹介しましょう。

まず、下の写真をご覧ください。これは「いもむしゴロゴロ」です。もちろん、食べられる”虫”です。



次に、「かぶと虫の幼虫チョコレート」です。



最後に、「ようちゅう・ベジ・パッくん」です。緑色の棒みたいなのは、グリーンアスパラです。



超～人気商品で、通販でも1ヶ月待ちだそうです。何を隠そう、そういう私も、1ヶ月待ちました。

「馬鹿ヤローカレー」(2008.3.22)



馬鹿ヤロー！・・・イチ！ニ！サン！ダー！猪木いーダー！・・・って、猪木ゆかりの品・・・じゃないですよ。馬肉と鹿肉を使ったカレーです。ん、塩っ気があるカレーですので、好き嫌いが分かれるところ。私は・・・スキ！

「アキバ発変身ラーメン」(2008.2.19)

オタクの聖地と呼ばれて久しい秋葉原。今、旬のインスタントラーメンがこれ！お土産用としても人気だそうです。何故「変身」なのか？



それはこういうことです。ずばりインスタントラーメンなので、普通のインスタントラーメンのように作ります。この時のベースが”とんこつ”味。



そこで、出来上がったラーメンを食べている途中で、付属の醤油ソースを入れると”醤油とんこつ”に『変身』するという趣向です。



とんこつに、醤油をぶっかければ、当然といえば当然。ん～、ビミョウ～～な変身っすねえ。



「M78 ウльтра マカロニ カーニバル」(2008.2.17)



副題で「M78 ウltra」とあります。M78といえばM78星雲。ウルトラマンの生まれ故郷ですよ。早速、マカロニをゆでて、ペペロンチーノ風にしてみました。



るほどなるほど、ウルトラマンの顔になるマカロニだったんですね。バルタン星人(?)の顔も見えますね。超～カワイイ～っ！

「海風土チョコレート」(2008.2.16)

『世界にたったひとつ』というのが触れ込みのチョコ、「海風土(シーフード) チョコレート」をご紹介します。このチョコ、普通のチョコじゃなくて、シーフード、つまり海もの(=乾物)とチョコをコラボレイトしたチョコなんです。



ですから、チョコをよく見ると、なんか変なものがいっぱい顔を出してるんです。割ってみるとよく判るんですけど、チラリホラリとなんか、乾物の破片が見え隠れしてるんです。写真左のチョコの方はなんか、・・・得体の知れない・何か魚くさい香りがします。右のホワイトチョコの方、ひょっこり顔を出しているのは明らかに桜エビ。”生々しい”桜エビの香りがあ・・・。



ちなみに、このほんのりお魚の形をした、嫌～な予感のする、チョコを、湯せんしてみると・・・・・・・・ビンゴ！



原材料表示を見てみましょう。イカがあり、エビがあり、もちろん、煮干しの記載もあるぞい！

海風土チョコレート

原材料名 イカ、エビ、煮干し、チョコレート

賞味期限別途記載

製造者

菓子舗サイトウ

宮城県気仙沼市南町1-4-2

☎0226-25-1656